

For research use only
Not for use in diagnostic procedures



iMatrix-332

Product No. 892 031 350 µg
Product No. 892 032 1,050 µg

Version 002
Store at 2-15°C

製品概要: iMatrix-332 は、ヒトラミン 332 のインテグリン結合部位を含む E8 フラグメント領域を CHO-S 細胞に発現させた組換えタンパク質です。全長ラミン 332 と同等のインテグリン結合活性を示します。多能性幹細胞からの角膜上皮細胞への分化誘導に有用です。また、ラミン 332 に接着する細胞 (ケラチノサイトなど) の培養にも有用です。

内容物: 組換えヒトラミン 332-E8 タンパク質

形状: 液状品

溶媒: 20 mM リン酸バッファー, 500 mM NaCl

タンパク質濃度: 0.5 mg/mL

内容量: 175 µg / 0.35 mL / tube

Product No. 892 031 350 µg / 2 tubes

Product No. 892 032 1,050 µg / 6 tubes

保存方法: 遮光して、2-15°C で保存してください。

有効期限: 有効期限は、製造日から 2 年です。有効期限は外箱に記載しております。上記保存方法にて保存し、有効期限内にご使用ください。

活性: ヒトインテグリン $\alpha 3 \beta 1$ との結合活性が、解離定数 5 nM 以下を示します。

使用例: iMatrix-332 の使用例として、下記の方法のように培養容器にコートして使用することができます。コーティング濃度は、細胞の種類や株、培地、目的によって異なります。コート不足の場合、細胞の剥離や細胞の状態にばらつきが見られることがあります。逆に、コート過多の場合、継代時に細胞がはがれにくくなる場合があります。

コート法

最初に 0.5 µg/cm² を基準にして 0.1-1.5 µg/cm² の範囲で培養に最適なコーティング濃度を検討してください。

- 1) iMatrix-332 を PBS (-) で希釈します。希釈はコーティング直前に行ってください。(0.5 µg/cm² でコートする場合、面積 9.6 cm² / ウェルの 6 ウェルプレートでは、1 ウェルあたり 9.6 µL の iMatrix-332 を PBS (-) で 2 mL に希釈してコートします。)
- 2) iMatrix-332 希釈液を入れた培養容器を 37°C で 1 時間、室温で 3 時間、4°C で一晩のいずれかの条件で静置します。
- 3) コーティング液を吸引除去後、速やかに細胞を播種します。コート面を乾燥させないようにしてください。

※継代時に細胞がはがれにくい場合は、コーティング濃度を下げた条件でご検討ください。
※コート法での使用は一例なので、その他の使用方法もお試しいただけます。

参考文献:

Nishiuchi R. *et al.* (2006) *Matrix Biol.* **25** (3), 189-97
Miyazaki T. *et al.* (2012) *Nat. Commun.* **3**, 1236
Shibata S. *et al.* (2018) *Cell Rep.* **25** (6), 1668-79
Shibata S. *et al.* (2020) *Stem Cell Reports* **14** (4), 663-76

注意: 本製品は試験研究用です。人体には使用しないでください。本製品を誤って吸飲した場合や、目に入った場合は、速やかに洗浄し医師の診察を受けてください。

製品情報: 参考文献や Q&A 等の最新情報を株式会社マトリクソーム Web ページ内で随時更新しております。下記 URL または QR コードよりご確認ください。

販売元: 株式会社 マトリクソーム
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 3-2
大阪大学蛋白質研究所共同研究拠点棟
電話: 06-6877-0222 Fax: 06-6877-0002
Contact: <https://matrixome.co.jp/contact>
URL: <https://matrixome.co.jp>



製造元: 株式会社 ニッピ
〒120-8601 東京都足立区千住緑町 1-1-1